

清涼の色 青紫聯芳（せいしれんぽう）

第122号 2019年7月1日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

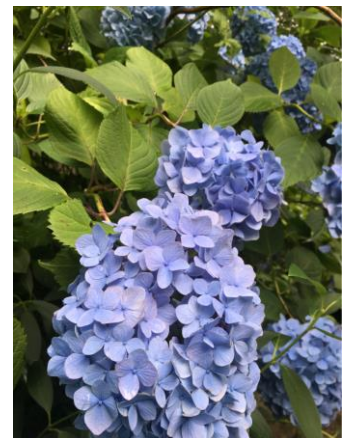
「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

青紫聯芳

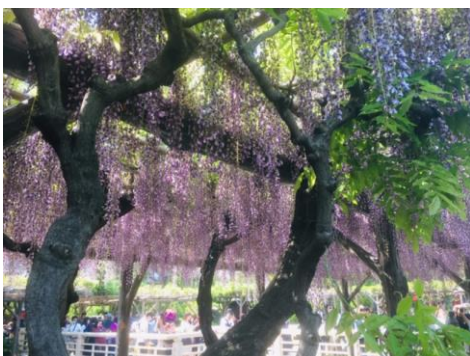
前号メールマガジンでは、季節の行事__嘉祥菓子についてご紹介させて頂きました。その際に、「青紫聯芳」という言葉を初めて知りましたが、「青紫聯芳って何?」「何て読むの?」と疑問を感じたため「青紫聯芳」について調べてみました。

「青紫聯芳」とは、青（＝緑 古来日本では緑もアオでした）瓜と紫色のナスが互いに自己を主張することなく、分を守って調和している姿を讃えた言葉だそうで、青（＝緑）と紫、異なる二つのものが連なり、お互いを引き立てさらに美しく見えるということだそうです。



「青紫聯芳」。この言葉が引っかかったのは、ちょうど見頃を迎えている紫陽花が浮かび、また、以前育てていた朝顔も青と紫であることをふと気が付きました。

聯（れん）：中国で、2句でひと組の表現を一種の装飾（書・絵・彫刻など）として屋内や屋外に掲げたもの。漢詩で、律詩の中の対句の称の意。





社内でも季節に沿ったお花が飾られていますが、その花々をよく見てみると青と紫の花々が花を咲かせていることに改めて気づきます。

「青紫聯芳」という言葉や青と紫の色を併せもつ花々の多さ、果物では葡萄もそうですが、気づいたら、たくさんのものがあります。

色とりどりの花が咲いているという意味を表す「千紫万紅」（せんしばんこう）と言う言葉もあるようで、季節の花々に注目していくと、まだまだ知らないものに出会えることを感じます。

ジャーマンアイリスは、花が二度咲くそうで、一度お花が咲いた後にしぼんでしまっても、再度咲くそうです。

季節の行事から、花々について今後更に目を向けていきたいと思ひます。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)



●過去のバックナンバー

第 119 号

楽健寺天然酵母パン

第120号

むかしの田んぼ 草取り

第121号

季節の行事 嘉祥菓子

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2 号館 10 階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。